




軽自動車5時間耐久レース コースオフィシャル ミーティング


2022/10/13 コース委員長 樋口雅樹



1. ポストの仕事と位置の比較

| | 仕事 | 設置場所 | 立ち位置 | 旗の掲示 |
|-------|-------------------------------------|--------------------------|---------------|----------------|
| ダートラ | 主としてトラブル・リタイヤ車両の救済(後処理) | トラブルの発生しやすい場所 | コースから離れた安全な位置 | 本部・ギャラリー向け |
| ジムカーナ | 主としてPTの判定とパイロン修正(後処理) | PTの発生しやすい場所 | PTの判定がしやすい位置 | 本部・ギャラリー向け |
| レース | ドライバーに各種の指示を主として旗表示で行う(先行指示) | ドライバーが見やすい右手前方の要所 | 安全な土手の上など | ドライバー向け |

 ○ ダートラポスト

 ○ ジムカーナポスト



○ K5ポスト

2. ポストオフィシャルの判断・判定

コース内にカメラやモニター等の施設は無い

本部や他ポストからは見通せず、無線での連絡・報告が全て

無線は1:1の会話しか行えず、通話中は他ポストからの報告が行えない

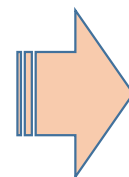
各ポストオフィシャル要員の全てが、競技長の傘下にいるのではなく、競技長に成り代わって判断・判定を、瞬時に行なわなければならない

他の競技のオフィシャルと異なり、特別規則書を熟知し、ルールを把握しておかなければならない

競技長・コース委員長と無線で連携しながらレースコントロールを行うのが仕事。
ルールを知らなければ連携できない

3. 業務分担表の見方

- (1) 各オフィシャルの主な業務内容
- (2) 各オフィシャルグループ内での業務分担
- (3) 特別規則書の主な関連ルール抜粋



業務分担表

2021 K5 コース業務分担表

2021_K5_コース業務分担表

| | | 業務分担 | | | | |
|---|-----------------|------|---|---|---|-------------|
| | | a | b | c | d | e |
| 1 | ピットイン(4名) | ○ | | | | コースから目を離さない |
| | ピットイン時の右ウインカー確認 | | ○ | | | |
| | 一時停止確認 | | | ○ | | |
| | ピットイン時間の確認 | | | ○ | | |
| | 以上の記録 | | | ○ | | |
| | 記録用紙の本部提出 | | | ○ | | ゴール後速やかに |
| | 無線装置 | | | | ○ | |
| | マカニシ時経過 | ○ | ○ | ○ | ○ | |

<旗掲示のガイドライン>

1. 黄旗

掲示無し：十分なコース幅が残っていて、全開走行に支障が無い

手旗減速：十分なコース幅は残っているがやや全開走行には気がかり

黄旗減速：コース幅に余裕が残り、十分な減速がたいと各隊

4. 黄旗掲示と緑旗掲示の関係性、赤旗掲示

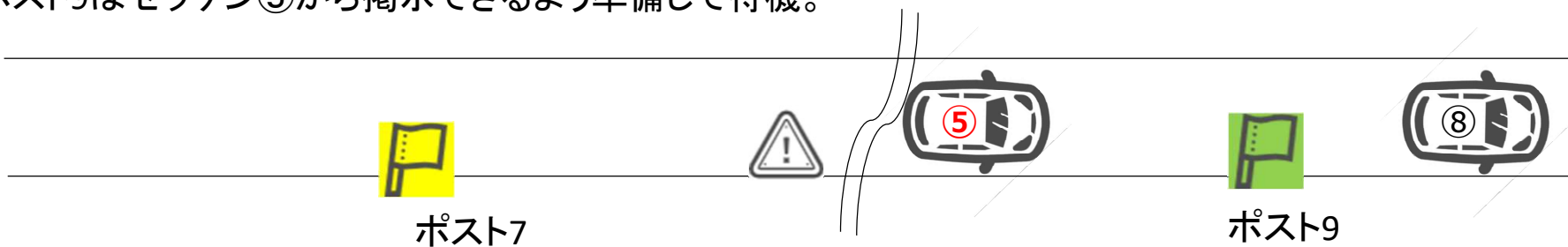
* 黄・緑・赤旗は、道路の信号機の色ではありません！

昨年から
ボンネットにもゼッケン表示を
追加でお願いしました



ポスト7の先で大きなトラブル発生！

ゼッケン⑧には黄旗が間に合わず、ゼッケン⑤から提示。その状況を無線連絡。
ポスト9はゼッケン⑤から掲示できるよう準備して待機。



ポスト9でゼッケン⑧には旗の掲示を行わず、ゼッケン⑤から緑旗を提示。その状況を無線連絡。
ポスト7は本部からの指示が有るまで黄旗掲示を維持。

5. 黄旗の追い越し禁止区間

* 黄・緑・赤旗は、道路の信号機の色ではありません！

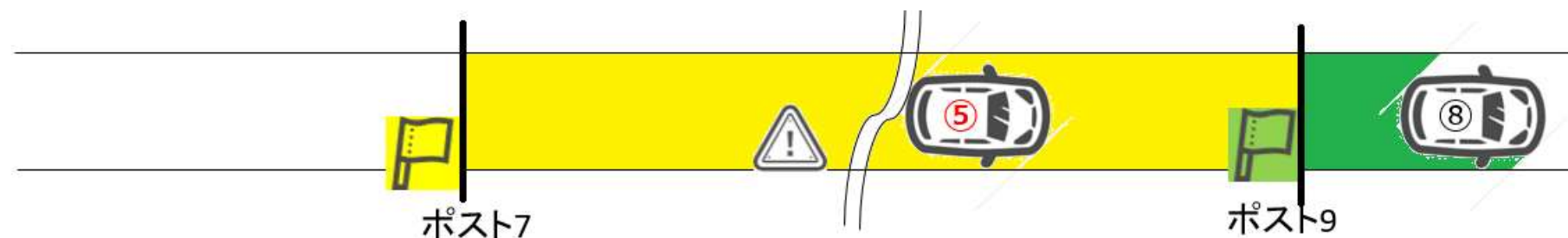


ポスト7の先で大きなトラブル発生！

ゼッケン⑧には黄旗が間に合わず、ゼッケン⑤から提示。

ポスト7まではゼッケン⑤も追い越し可、ポスト7からは黄旗区間だが、

ゼッケン⑧には黄旗を掲示していないので、前方にトラブルの現場が有っても緑旗状態なので追い越し可



ゼッケン⑤はポスト9まで追い越し禁止、

緑旗を掲示しているポスト9を超えてから追い越し可となる。

6. 無線交信例 (1)

<フォーメーションラップ>



こちらは本部です
全てのポストは、最後尾のゼッケン
△△番の☆☆大学が通過時に、
無線連絡してください。
送受信確認を行います。



全てのポストは送受信確認と共に、最後尾ゼッケンの通過を報告します。この事は、フォーメーションラップの正常な隊列が組まれている事を意味します。

コース委員長から、全ポストオフィシャル、レスキューへ、セーフティカー(SC)ランで先導車誘導走行を開始する前に連絡します


ポスト7です
ただ今、ゼッケン△△番が通過しました。
隊列は正常です




6. 無線交信例（2）

<フォーメーションラップ>

競技長から該当ポストへの指示
です。レスキューの出動判断は該
当ポストに託したケースです。
SCへの指示も行われます。

こちらは本部です 
最後尾の車両が通過後に隊列に
戻してください
自力で戻れない場合はレスキュー
出動を要請してください
SC(先導車)は減速してください

ポスト7です 
ゼッケン〇〇番の□□大学がスタック
して、隊列を維持できません
コースは塞いでいません


コースは塞いでいないが隊列が整
わず、判断を本部に委ねる為の
報告です。




6. 無線交信例 (3)

<フォーメーションラップ>

フォーメーションラップは中止です。
スタック車両を撤去するためのレスキュー車両の走路確保が必要です。

こちらは本部です 
SCはコントロールで停車してください。
レスキューは競技車両に注意しながら
出動してください。
全てのポストは、レスキュー車が通過
できるように、
競技車両をコースの右側に寄せるよう
に誘導してください

ポスト7です 
ゼッケン〇〇番の□□大学がスタックし
て、隊列を維持できません
コースを塞いで後続車は止まっています
自力でのコース復帰は不可能です


コースを塞いでいて動けず、フォー
メーションラップが中断してしまいま
した。本部に委ねる為の報告です。




6. 無線交信例（4）

<転倒>

レースは中止です。転倒車両を撤去するためのレスキュー車両の走路確保がまず必要です。

こちらは本部です 
全てのポストは黄旗を提示してください
特に手前のポスト6は黄旗を強く振ってください
レスキューは競技車両に注意しながら出勤してください。
全てのポストは競技が停止している事を確認出来たら、
レスキュー車が通過できるように、
競技車両をコースの右側に寄せるように誘導してください


ポスト7です 
シケイン手前で壁に乗り上げ転倒、赤旗提示します
転倒車はゼッケン〇〇番の□□大学です


横転後、戻ってしまっても、転倒扱いです。転倒時の赤旗判断だけは各ポスト自身で行ってください。
走路の安全の確保ができたなら転倒車両に近づき、エンジンの停止有無に関わらず、外からキルSWを操作してください。その次にドライバーの安全確認です。
同時に他のポスト員は後続車を全力で減速させてください

6. 無線交信例 (5)


<コースアウト>

こちらは本部です 
旗は出さずに、そのまま様子を見てください

こちらは本部です 
旗は出さずに、そのまま様子を見てください
手前のポスト6は旗ではなく、
手を上下に振って、
競技者に注意を促してください

ポスト7です 
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースはレース走行に問題ありません


安易に黄旗を出さない事が大切です


ポスト7です 
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースは塞いでいないですが、
走行に注意が必要です。

6. 無線交信例（6）

<コースアウト>

ポストの位置、ゼッケン、大学名
など、重要な情報を全てのポスト
は聞き取ってください

こちらは本部です 
手前のポスト6はゼッケンを確認できた車
両から黄旗を掲示して、
そのゼッケンをすぐに無線連絡してください。
無線連絡を受けたゼッケンから、
ポスト7と8は黄旗、コントロールで緑を
出します


ポスト7です 
シケイン手前で壁に乗り上げ停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースは塞いでいないですが、とても危険です。


自身でのコース復帰ができそうにない時、
ドライバーの安全がとても危惧される場合、
明らかに二次的事故が危惧される場合など、
具体的な報告が大切です

6. 無線交信例（7）

<故障>

コースを塞いでレースを続行できない場合は赤旗でレースを停止し、本部前などで再スタートの段取りとなります。従って故障車が容易に復帰できない場合にのみ、赤旗でレースを中止します

こちらは本部です 
全てのポストは黄旗を提示してください
ゼッケン確認は不要です
ポスト7は赤旗を出してください
レスキューは出動をお願いします。


ポスト7です 
シケイン手前で壁に乗り上げ、コース中央で停車しています
停止車両はゼッケン〇〇番の□□大学です
コースを塞いでいて、自走もできません。


自身でのコース復帰ができそうにない時、ドライバーの安全がとても危惧される場合、明らかに二次的事故が危惧される場合など、具体的な報告が大切です


6. 無線交信例（8）

<接触・ブロック>

追い越しは右側からでも左側からでも可能です。
一方遅い車は原則として右側走行です。
どちらかが悪い時は一瞬で終わりますが、
悪質な走行を行う車両は繰り返しますので、
何らかの指示を本部から行う可能性があります

こちらは本部です 
全てのポストは、
ゼッケン〇〇番の走行に注視して、
危険とみなされた場合は報告してください

ポスト7です 
接触しながらの追い越し発生。
右側から追い越した車両はゼッケン〇〇番
の□□大学です


ポスト7です 
故意に追い越しを妨げる行為が発生。
ブロックした車両はゼッケン〇〇番の□□大
学です




6. 無線交信例（9）

＜ペナルティ＞

ペナルティの判定は競技会役員が行い、審査委員会が裁定する事になっています。
ポスト員はポストを離れられないので、競技会役員が聞き取りに行き、審査委員会にかけます

こちらは本部です 
審議の為に競技役員がポスト7に向かいますので待機してください


ポスト7です 
黄旗中に追い越しが発生。
追い越した車両はゼッケン〇〇番の□□
大学です


黄旗区間での追い越しだったか、ポスト員全員でよく確認し合ってください

6. 無線交信例 (10)

<ペナルティ>

競技時間の半分を経過後はマッドフラップ脱落の修理は免除されます

こちらは本部です。
ピットインの指示をチームから出させます

ポスト7です 
マッドフラップが脱落していますがコースに問題はありません。
脱落した車両はゼッケン〇〇番の□□大学です

車輛のトラブルは、早期にポストオフィシャルが発見し報告すべきです。それによって安定したレース運営が可能になります

7. ピットイン（特規抜粋）

第4条3項

S Cラン時のピットインは認める

S Cラン中に散水作業の状況によっては、
隊列全車をピットインさせる場合がある

パトライト点灯のままS Cがピットインした場合は全車それに従うこと。

第17条4項

ピット入場の際には
右ウインカーで合図すること。
（最終ヘアピンコーナー通過後
速やかに合図すること。）

第17条5項

ピットインは必ず一時停止し、
競技会役員の指示に従うこと。



8. ピットアウト (特規抜粋)

第17条6項

ピットアウトは必ず一時停止し、
競技会役員による安全装備チェック
(ヘルメット、HANS デバイスまたはネックプ
ロテクターの装着、服装、シートベルトの装
着状態等)
を受けなければコースインは出来ない。

先頭車両がチェッカーフラッグを受けたと同時に
ピット出口は閉鎖され、
ピットに停車中の車両は
再びコースに戻ることは出来ない。

第23条2-(4)項

(フォーメーションラップ・散水時)
ピットアウト(コースイン)は
SCラン終了後のコントロールライン上にて
緑旗が提示された後に
隊列の最後尾に付く事で
コースインを認める。

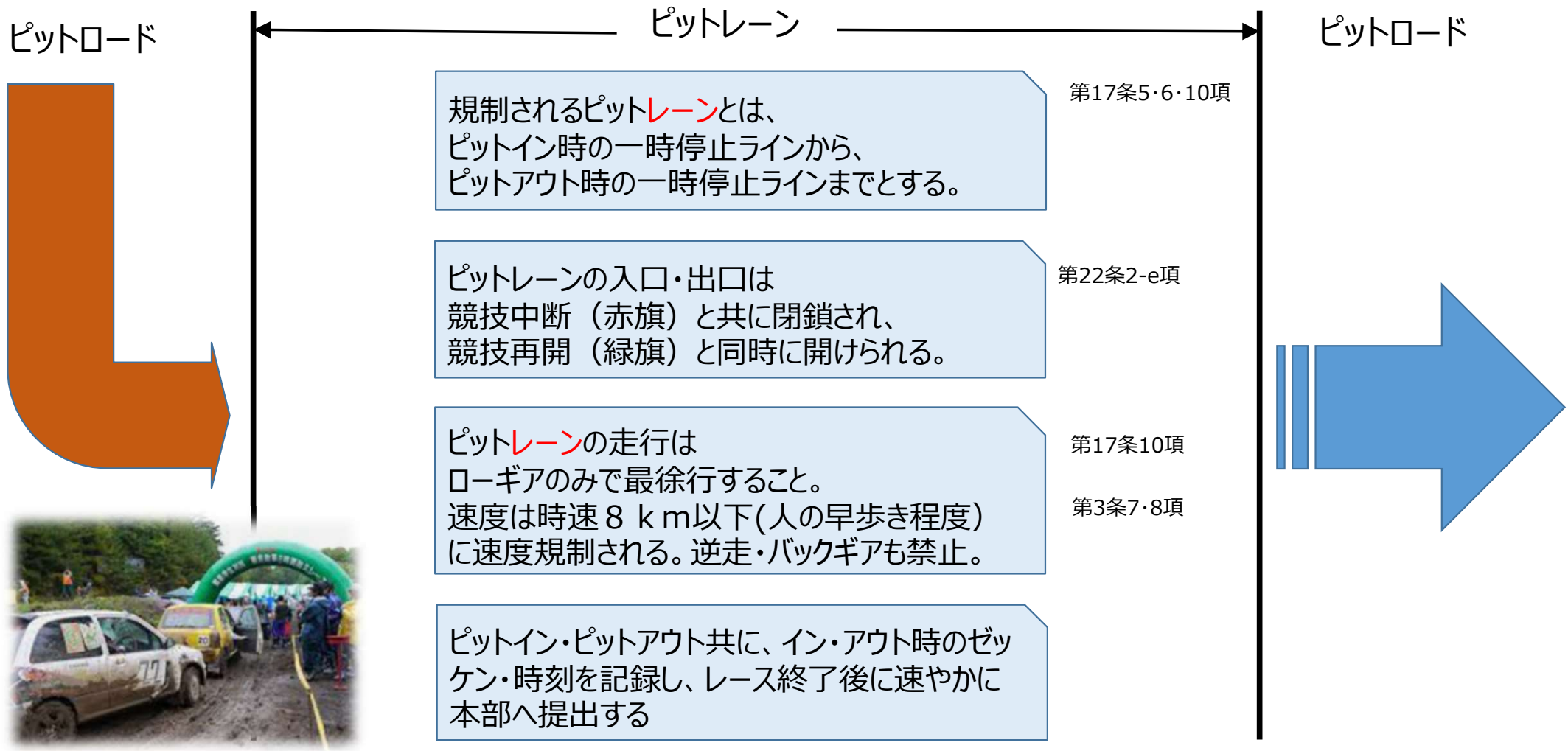
第4条3項

第17条7項

ピットアウトは本コース優先とし、
コースに入る時は
左ウインカーで合図をし、
注意しながらコースに入ること。

コースイン後の最初のコーナー
はアウトサイドを走行すること。

9. ピットイン・アウト共通（特規抜粋他）



EOF